

5 阿波十郎兵衛屋敷 事業実績

阿波十郎兵衛屋敷は、昭和29年に板東十郎兵衛を偲ぶ施設として一般公開され観光客に親しまれてきました。平成18年4月1日に、徳島県立阿波十郎兵衛屋敷としてリニューアルいたしました。今後も、この阿波十郎兵衛屋敷を中核拠点として、本県の誇る伝統芸能である阿波人形浄瑠璃の振興と県内外の文化・観光交流を促進し、本県の文化振興に努めてまいります。

(1) 伝統文化振興事業 【経費 12,202千円】

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	阿波人形浄瑠璃 芝居定期上演	年間を通じて、県内外の観光客等に対して、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会所属の大夫、三味線、人形座による阿波人形浄瑠璃芝居を定期上演した。もって、その普及と観光振興に資した。 通年 入場者 28,722人	10,838,400	—
2	阿波十郎兵衛人形浄瑠璃まつり水無月公演	阿波人形浄瑠璃芝居を中心として多くの人々に郷土芸能を楽しんでいただくとともに、十郎兵衛屋敷の定例行事として徳島の伝統文化継承や観光振興に、役立てることを目的に開催した。 また、木偶に実際に触れ、操り、人形の実演体験が行うことができる場や、木偶の制作過程を見学できるコーナーなども設置し、より身近に接することにより阿波人形浄瑠璃の活性化に繋げた。 6月16.17日 入場者 256人	521,154	—

3	公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会との連携による人形浄瑠璃公演	<p>阿波人形浄瑠璃芝居を多くの人々に楽しんでいただくとともに、伝統文化継承に役立てることを目的に、公益財団法人阿波人形浄瑠璃振興会との共催により、開催した。</p> <p>木偶に実際に触れ、操り、人形の実演体験が行うことができる場や、木偶の制作過程を見学できるコーナーなども設置し、より身近に接することにより阿波人形浄瑠璃の活性化に繋げた。</p> <p>日時:平成25年3月16.17日 入場者 226人</p>	142,662	—
4	人形浄瑠璃とくしま座の育成と活用	<p>阿波十郎兵衛屋敷を活用して、元文楽座技芸員による指導、および座員による自主練習。各種公演に参加し「モラエス恋遍路」などの普及につとめた。</p> <p>日時:通年</p>	400,000	—
5	義太夫教室および発表会	<p>三味線奏者である竹本友和嘉師匠により、浄瑠璃経験のない初心者への講習会を実施し、終了後その成果を発表した。</p> <p>日時:7,8月の5回 受講者 18名</p>	0	—
6	情報の収集と発信	<p>徳島県内の人形浄瑠璃関連事業の情報を収集し、インターネット・ホームページ等で全国に向け発信することにより、阿波人形浄瑠璃芝居の一大拠点となる機能を果たした。本事業を通して、阿波人形浄瑠璃の活性化につなげた。</p> <p>日時:通年</p>	300,000	—

7	義太夫講習会	近年、阿波十郎兵衛人形浄瑠璃まつりをはじめとし、人形浄瑠璃公演の観客も増加している。県民の認知度も非常に高くなってきている。そこでこの機会にさらに一層の技量充実をはかり、各種人形浄瑠璃イベントに反映させるため、文楽協会より技芸員を講師として招聘し、指導を仰いだ。 日時:8月11. 12日 受講者 23名	0	-
	小計		12,202,216	0

(2) 展示事業

	事業名	概要	経費(円)	収入(円)
1	展示室企画展示コーナー展示替え	展示室企画コーナーの展示替えを、年間3～4回おこない、展示施設の充実を図った。 日時:通年	0	-
	小計		0	0
	合計		12,202,216	0